

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育者論	1	後期	講義	2	常盤忍
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の職業的特徴、求められる基本的専門性を理解している。 ・保育者の研修の意義、生涯にわたる学び、研鑽の必要性を理解している。 ・保育者が専門家や関連機関と連携し対応することの重要性を理解している。 					
<p>○ 授業の概要</p> <p>保育者の役割や専門性を理解し、現場における具体的な働き方や協働の姿勢を学ぶ。また、時代の要請に沿った子育て支援の仕組みや内容から、地域や専門機関との連携の重要性についての理解を深める。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>第1回 保育者になるということ</p> <p>【事前学修】テキストやシラバスを読み、授業の概要等を把握する。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認①」を整理する。</p> <p>第2回 保育者の仕事と役割（幼稚園・保育所）</p> <p>【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認②」を整理する。</p> <p>第3回 保育者の仕事と役割（認定こども園・児童福祉施設）</p> <p>【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認③」を整理する。</p> <p>第4回 保育者の制度的位置づけ（資格・責務・倫理）</p> <p>【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認④」を整理する。</p> <p>第5回 保育者になるための学び</p> <p>【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑤」を整理する。</p> <p>第6回 子ども子育て支援新制度</p> <p>【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑥」を整理する。</p> <p>第7回 日本の幼児教育の歴史</p> <p>【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。</p>					

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑦」を整理する。

第8回 保育所保育指針・幼稚園教育要領等における保育者の役割

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑧」を整理する。

第9回 子どもの育ちの現状と課題

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑨」を整理する。

第10回 子育て支援と保育者の役割

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑩」を整理する。

第11回 保育者に求められる資質

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑪」を整理する。

第12回 園における連携・協働体制（職員間、専門機関、地域における関係機関）

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑫」を整理する。

第13回 保育者の資質向上とキャリア

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑬」を整理する。

第14回 諸外国の保育

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑭」を整理する。

第15回 現代社会の変化と保育者に期待されること

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、「学びの確認⑮」を整理する。

○ テキスト

新時代の保育双書「今に生きる保育者論」（第4版） 編集代表 秋田喜代美 株式会社みらい

○ 参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版） 文部科学省 フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版） 厚生労働省 フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)

内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

授業で毎回配布する「学びの確認①～⑮」(自作資料)

○ 学生に対する評価

授業への関心・意欲・態度(授業態度) 20%

課題解決への取組状況(討議・レポートの内容) 20%

定期試験 60%